

第十三回 衆議院商法修正案審查特別委員會速記錄

(第四號)

明治三十二年二月二十二日午前十一時一分開議

○委員長(大岡育造君) 引續キ商法修正案ノ委員會ヲ開キマス

○(花井卓藏君) 此商法修正案ノ委員會ニ於キマシテモ、私ガ質問致シマシタル廉ノ速記ノ中ニ、訂正ヲ要スル事柄ガアルノデアリマスガ、小サイコトハ訂正ヲ致シマセヌガ、少シク意味ノ通ゼヌ箇條ガアリマスカラ、其廉ダケノ訂正ヲ致シタウゴザイマス、速記ノ第二號二十一頁ノ上段花井卓藏君「五十九條ニ云々」ト云フ項デアリマス、其項ノ五行目ニ「讓渡人ガ以前社員タルノ資格ヲ」トアル、其以前ト云フノハ「依然」ノ誤デアリマス、ツレカラ矢張第二號ノ三十二頁ノ上段一番シマヒノ所ニ、花井卓藏君「サウスルト絕對競賣ニ依ル云々」トアル、此絕對ト云フノハ「強制競賣」ト云フコトニナリマス、ツレカラ同頁ノ下段「意納處分」ト云フコトガ幾箇所モアリマスガ、是ハ「滯納處分」ノ誤リデアリマス、一々申上ゲテ置キマセヌガ、其他ニアリマスモノガ、總テサウナリマス、ツレカラ矢張三十二頁ノ中デ、私ノ質問ノ第五問ニ、斯ウ云フコトガアル「矢張同様デアリマスガ」ノ次ニ「株主又ハ讓渡人ト云フモノハ」トアルノハ、是ハ「株主或ハ讓渡人ノ債權者ト云フモノハ」ト云フコトニナル、ツレカラ第七問ニアル「モウ一ツ御尋シマスガ株主ノ意納者或ハ讓渡人ノ債權者ト云フモノガ必ズアル其債權者ハ株主又ハ讓渡人ノタメニ代辨濟ガ出來ルノデセウカ云々」ト云フコトガ書イテアル、是ハ「株主或ハ讓渡人ノ債權者ト云フモノガ必ズアル、其債權者ト云フ事柄ニナッテ、代辨濟ハ「代位辨濟」ト云フコトニナリマスノデス、ツレカラ三十三頁ノ第一問、花井卓藏君「斯ウ云フコトデス」ト云フ項デアリマス、是ハ大イニ誤リガアリマスカラ、其點ヲ私ガ當時申上ゲタ趣意ニ再ビ申上ゲマスカラ、其通り御書取ヲ願ヒタイ「代位辨濟ガ出來ルモノトスレバ、債權者ト云フ者ガ、株主並ニ讓渡人ニ對シテ、會社ノ有セシ一切ノ權利ヲ行ヒ、就中第三項ニ定メタル競賣ヲナスコトガ出來マスカ」ト云フ趣意ニナルノデス、ツレカラ第一號並ニ第三號ノ分ハ、實ハ精讀スル暇ガナイノデ、唯今申上ゲタノハ、少シク必要ノコトガアツテ、讀ンデ見シタラ、其通誤ッテ居ルト云フコトヲ發見シマシタガ、其他ニ於テモ尙ホ訂正ヲ要スル所ガアラウト思ヒマスガ、先ヅ訂正ハツレマデニシテ、抵觸スルヤウニ讀マヌ速記ノ廉ハ、前後ノ文章ヨリ御推察ヲ願ッテ置キタイト云フ事柄ヲ一言致シテ置キマス

○(花井卓藏君) ツレカラ質問ヲ片付ケルコトニ致シマセウ、第十九條ニ附イテ質問致シマスガ、商號ノコトニ附イテ關係ヲ持ッテ居ル質問デアリマスガ、此十九條ニゴザイマス、他人ガ登記シタル商號ト云フ事柄ガ書イテゴザイマスノハ、商號登記簿ニ登記シタル商號ノ意味ナノデアリマセウカ、或ハ

各會社ノ登記簿ニ登記シタル會社ノ商號ヲモ、之ニ含ムト云フ趣意デゴザイマセウカト云フコトヲ、一ツ御尋致シマス、ツレカラ第二ニハ、非訟事件手續法第五百十八條ニ關係致スコトデゴザイマスガ、此十九條ノ中ニハ、他人ガ登記シタル商號ト判然區別スルコトヲ得ザル商號モ亦含マレベキモノデゴザイマセウカ、此點ニ付キマシテハ、先般委員ヨリ御説明モアッタヤウデゴザイマスガ、速記錄ニ依ッテ見マスト、十分明瞭ニナッテ居ラヌヤウデアリマスカラ、尙ホ一應御確メヲ致シタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 第一問ニ附イテハ、第十九條ノ登記ト云フ文字ハ、商號ノ其登記即チ商號登記ノ意味ニ用井タ積リデアアルノデスカラ、會社ノ商號モ矢張商業登記簿ニ登記シタト云フトキニ、始メテ登記シタル商號ト云フコトヲ云フ積リデアリマス、ツレカラ第二ノ御質問ハ、矢張先頃同様ノ御質問ガアツテ、其節ニ吾々ノ方カラ、御答ヲ致シタ通り、或ハ此第五百十八條——非訟事件手續法第五百十八條ノ規定ト云フモノハ、性質カラ言フタナラバ、商法ノ中ニ文字ヲ更ヘテ、是ト同様ナ趣意ニ附イテノ規定ヲ設クルノガ、穩當デアッタカモ分ラナイ、併ナガラ其非訟事件手續法ノ方ハ、既ニ法律トナッテ居ルモノデアリ、又此商法修正案並ニ非訟事件手續法ト云フモノヲ制定セル當時ニ於ケル吾々ノ考ハ、矢張非訟事件手續法ニ讓ッタ方ガ、宜カラウト云フノ積リデ、商法修正案ノ中ニハ、此趣意ノ規定ヲ置カナカッタノデ、實際ハ詰リ此修正案ノ第十九條ト、ツレカラ非訟事件手續法ノ第五百十八條ガ、並ンデ行ハレテ行カネバナラヌモノデスカラ、或ハ商法ガ足りヌ所ヲ、非訟事件手續法デ補ッタモノデアルト云フヤウニ見テモ、差支ナカラウカト思ヒマス

○(花井卓藏君) 分リマシタ、第二十五條ニ付イテ御尋ヲ致シマスルガ、第二十五條ノ二項ニ、此賣上總額ト云フコトガ書イテアル、此賣上總額ト云フノハ、商品ノ總額ト代價ノ總額ト併セ稱スル意味デゴザイマセウカ否ヤト云フ事柄ヲ、一ツ御尋ヲ致シマス、ツレカラ簡單デゴザイマスカラ、直クニ二十六條モ併セテ御尋ヲ申シテ置キマス、ツレハ二十六條ニ「會社ノ設立登記ノ時」ト云フ事柄ガ書イテアル、此意義ハ本店ノ所在地ニ於テ、設立ノ登記ヲ爲シタル場合ヲ云フノデアリマセウカ否ヤ、此二十五條二十六條ヲ併セテ御尋申シテ置キマス

○政府委員(田部芳君) 第一ノ二十五條第二項ノ賣上總額ト云フコトハ、何ヲ指スカト云フ御尋ニ付イテ、御答ヲシマスガ、此賣上總額ト云フモノハ、文字ノ通り詰リ其品物ヲ賣リマシタ其代價ノ總額ヲ指スノデアリマス、ツレカラ第二十六條ノ御問ニ付イテハ、斯ウ云フコトヲ御答ヲスレバ宜カラウ、會社ノ設立登記ト云フコトガ、幾分カ符牒ノヤウデアリマスケレドモ、會社

設立ト云フモノガ、法律上完全ニ成立スルコトハ、即チ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲスレバ、ツレデ會社ガ完全ニ成立シタト云フコトニナリマス。デアリマスカラ、詰リ會社ノ方ノ規定ト併セマスレバ、茲デ設立登記ト云フノハ、要スルニ會社ノ本店ノ所在地ニ於テ、登記ヲシタトキ、斯ウ云フ意味ニ解釋スベキモノト認メマス。

○(花井卓藏君) 第二十七條ノ事柄デ、チヨット御尋致シマスガ、是モ隨分今マデ御尋ヲシテ、略々要領ハ得テ居ルノデスガ、政府委員モ矢張此營業開始前ニ利息ト云フモノ、アル事柄ヲ御認メニナルノデスカ、詰リ年二回以上利益ノ下ヘ、私ガ利息ト云フコトヲ加ヘタイト云フ考案カラ起ツテ、屢々御問題ガ出タノデアリマスガ、營業開始前ニ利息ト云フモノガアルコトハ、到底御認メニナルコトハ、疑ヒナイノデアリマセウガ、岡野政府委員ノ説明ノ中ニ、此場合ニ適當シタルヤ否ヤハ、記憶致シテ居リマセウガ、利益ト云フ中ニ廣ク含マレルデハナイカト云フ御答ガアツタカノヤウニ思ハレマスカラ、重ねテ御尋致シマス。

○政府委員(岡野敬次郎君) 現行法ニハ澤山、利益又ハ利息ノ配當ト云フ文字ガ用井デアル、所ガ商法修正案ノ趣意ト云フモノハ、免ニ角其利益ト云フモノハ、營業年度ノ終リニ於テ、財産目錄貸借對照表ト云フモノヲ作ツテ、其表ニ照ラシテ會社ノ營業ノ成績ガ、果シテ宜カッタノデアルカ、或ハ惡カッタノデアルカ、宜ケレバ即チ法律ノ規定ニ依テ、差引クベキモノダケ差引イテ、後トニ餘ル所ノ金ガ、即チ利益デアル、其利益ト云フモノヲ、或ハ利益ノ配當ト云フ名義ヲ附ケテ、社員ノ間ニ之ヲ分ツノデス、又會社ノ定款ニ依ツテ、先ヅ會社ニ出シタ出資ノ額ニ應ジテ、利益ト云フノ名義デ配當シテモ、ソレハ法律上ノ性質カラ云ヘバ、同ジモノデアルカラシテ、ソコデ特ニ利益又利息ト云フコトヲ斷ワラナイデ、單ニ利益ト云フ文字ヲ用井タノデアリマス。

○(花井卓藏君) 第三十一條ニ付イテ御尋シマスガ、此商業社會ニ仲立人ト云フ者ガアル、即チ一定ノ商人ノタメニ、平常其營業ノ部類ニ屬スル商行爲ノ媒介ヲナスモノデアリマス、是ハ商法ノ上ニ於テハ、何ト云フ名義ニナルノデアリマスカ、代理商ト云フノニ相成ルノデアリマセウカ、又三十條ノ第二項ニ「支配人ハ番頭手代其他ノ使用人ヲ選任」云々ト書イテアル「其他ノ使用人」ト云フ中ニ、矢張屬セシメル御解釋ニナルノデアリマセウカ、其點ヲ御尋致シマス。

○政府委員(田部芳君) 唯今ノ御問ハ、此案ノ第三十六條ニ據ツテ、直チニ決セラレコトデハナイカト思ヒマス、第三十六條ニハ「使用人ニ非スシテ」云々トアリマシテ、使用人デナクシテ一定ノ商人ノタメニ、媒介ヲスルコトヲ業トシテ居ル者ガ、即チ代理商デアアル、唯今ノ御問ノ場合ハ、即チ代理商云々ト申シマス所ノ代理商ニ當リマス。

○政府委員(岡野敬次郎君) 尙ホチヨット一言補ッテ置キタイノハ、此修正案ノ趣意ハ、第六章ノ商業使用人ト云フモノ、中ニ這入ルノハ、即チ商人ノ

謂ハ、機關トシテ働ク使用人ノミヲ申スノデアリマス、ツレカラ第七章ニ言フ所ノ代理商ト云フモノハ、獨立ノ營業者デアアル、ツレデマア一種ノ雇傭關係トカ、或ハ委任ノ關係ト云フモノガアルニシテモ、免ニ角代理又ハ媒介ヲ爲シテ、ツレニ依ツテ一定ノ報酬ヲ受ケルト云フ營業ヲナシテ居ルノデアアル、ツレデアリマスカラ第六章ニ云フ商業使用人ト、第七章ノ代理商ト云フモノ、性質カラ違ッテ居ルモノト、斷定シテアルノデス。

○(花井卓藏君) 此四十八條ニ付イテ尙ホ一應御尋ヲ申シテ置キタイ事柄ガアリマスガ、公ノ秩序或ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ハ、法律行爲デナイト云フ事柄ハ、明カナ話デアラウト思フノデアアル、所デ會社ノ代表者ガ、法律行爲ニアラザル行爲ヲ爲シタ所デ、代理ノ作用ト云フモノハ、私ハ到底生ゼヌデアラウト思フ、即チ會社ニ對シテハ、其效力ヲ生ゼヌ事柄ニ相成ルデアラウト思フノデアアル、ツレ故ニ會社ガ公ノ秩序ニ反スル行爲、或ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲナスコト云フ事柄ハ、實際上見ルコトノ出來ナイ事實ナノデアアル、此點ニ付キマシテ本員ガ先日ノ委員會ニ於テ、修正的ノ質問ヲ致シテ置イタ所ガ、御答辯ノ中ニ、併ナガラ總會ナドガ斯ノ如キ事ヲシタ場合ニハ、實ニ始末ガ付カヌカラシテ、廣イ意味デ會社ガト云フ言葉ヲ用ヒタノデアアルト云フ御答辯デアリマシタガ、退イテ熟考ヲ致シテ見マスルケレドモ、ドウシテモ此法律行爲ニアラズト云フ事柄ガ第一ニ定マリ、第二ニ法律行爲ニアラザル行爲ヲシタ所デ、代理ノ作用ヲ生ゼヌト云フ問題ガ定マリ、第三ニ斯ノ如キ事柄ハ、會社自身ノ行動トシテハ、實際トシテ見ラレヌト云フ事柄ガ、事實ノ上ニ於テ定マルト云フ場合ニ於テハ、ドウシテモ茲ニ會社ガト云フ文字ヲ殘シテ置イテ、四十八條ヲ保ツテ往クト云フ事柄ハ、甚ダドウモ不都合ト言ハムヨリハ、法理上許スベカラザル規程デアアルト、私ハ思フノデアリマス、此點ダケハ如何ニシテモ、御説明ノ趣意デ分ラヌノデアリマスガ、若シモ政府委員ガ説明ノ通りニ致シマスレバ、矢張私ノ修正的質問ノ外ニ、尙ホ總會ガト云フヤウナ事柄ヲモ、一ツ位加ヘテモ、一向差支ナイノデアリマスケレドモ、ツレヲ加ヘタ所デ、此四十八條ハ矢張此原案ヲ、ドウシテモ維持シナケレバナラヌト云フ必要ガアルト云フ御趣意デアリマセウカ、ツレヲ一ツ御尋申シタイ、此點ダケヲ承ツテ見タイ、モウ一ツ程アルノデスケレドモ、先ヅ第一ニ法理上ノ解釋ヲ承リタイ。

○政府委員(岡野敬次郎君) 公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ハ、法律行爲デナイ、法律行爲デナイモノニ、又代理權ノアルト云フコトハ、法理上許スベカラザルコトデアアルト云フノ點ハ、誠ニ吾々モ正シト思フノデス、併ナガラ其法律ノ規程トスルト、例ヘバ民法其他商法ニモ澤山アルデアリマセウガ、何々ノ行爲ハ之ヲ無効トス、斯ウ云フヤウナ規程ガアル、例ヘバ法律行爲ハ、斯々ノ場合ニ於テハ、之ヲ無効トス、之ヲ無効トスト云フノハ、法律ノ規程デアラナラバ、實ニ法律行爲ハ、無効トスト云フコトハ言ヘヌノデ、ツレハ法律行爲デナイ、斯ウ云フコトヲ入レニヤナラヌ、理窟ハ誠ニ正

シイノデアリマスケレドモ、ドウモ其書キ方ノ上ニ於テハ、誠ニ已ムヲ得ヌ
コト、思フノデス、例ヘバ民法ノ九十條ニモ「公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反
スル法律行為ハ無効トス」トアル、是ハ法律行為デナイノデアリマス、斯ウ
云フ眞理カラ論ジテ往クト、元來法律行為ハ無効トスト云フコトヲ書クノハ、
誤ッテ居ル其誤ッテ居ルト云フコトハ、吾々ニ於テモ認メルノデアアルデス
レドモ、如何トモ書キ方ガナインデアアル、先ヅ假リニ法律行為ヲシイモノガア
ルト云フコトヲ想像ヲシテ、サウシテ其行為ハ此缺點アルガタメニ、無効デ
アルト云フコトヨリ外ニ、法文トシテ外ニ書キ方ガナカラウ、又四十八條ノ
規程ト云フモノハ、是ハ會社ノ總則中ニアル規程デアリマスカラ、總テノ會
社ニ一般ニ適用サル、規程トシテ、茲ニ舉ゲタノデアリマスカラ、此四十八
條ヲ補ッテ、或ハ總會ト云フ文字ヲ加ヘルトシテモ、其總會ハ株式會社ノ外
ニハナイノデアアルカラ、ドウモ文章モ法文トシテ穩カデナイデアラウ、又會
社ガド云フコトヲ云フノハ、實ハ法理ニ反スルト云フ御議論ハ、是モ正シイ
ノデアラウト思フ、併ナガラ是ハ詰リ便宜上ノ規定デアッテ、殊ニ總則トシ
テ茲ニ掲ゲルノデアアルカラ、差支ナカラウト云フ考デアアルノデス

コトヲ得ザルトキト雖モ、其社員ト云フモノガ、矢張此六十條ノ規定ニ依リ
マシテ、會社ヲ代表スル事柄ガ出來ルノデゴザイマセウカ、ドウデゴザイマ
セウカト云フ點ガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ、定款ナリ又ハ總社員ナリノ同
意ヲ以テ、特ニ會社ヲ代表スベキ社員ト定メタモノガ、幾人モアッタ場合ニ
於テハ、各自ニ其會社ト云フモノヲ代表スルノデゴザイマセウカ、ドウデゴ
ザイマセウカ、又此場合ハ本條ハ適用セラルベキモノデゴザイマセウカ、ド
ウデアリマセウカ、此二點ニ附イテ……

○(花井卓藏君) 唯今ノ御説明ハ、私ニ御同意ヲ表セラレタ點ダケハ、甚ダ
感服ヲ致シマスガ、其他ハ一向理窟ニナラヌト思ヒマスカラ、唯感服ヲ致サ
ヌト云フダケヲ申シテ置キマシテ、次ニ進ンデ質問ヲ致シマス

○(石黒瀧一郎君) チョット四十八條ノ修正の質問ト云フコトデスガ、是ハ
ドウ云フ前ニ修正の質問ガアッタノデスカ

○(花井卓藏君) 私ガ修正の質問ト云フノハ、會社ノ代表者ガ會社ノ業務
ニ付キ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行為ヲ爲シタルトキハ云々ト、斯ウ
云フノデアリマス——第五十三條ニ付イテ質問ヲ致シマス、設立ノ當時ニア
リテハ、會社ノ存立時期ト云フモノヲ定メズ、ソレカラ解散ノ事由ヲモ定メ
ズ、ソレカラ又會社ヲ代表スベキ社員ヲモ定メナカッタノデアアル、ソレヲ後日
ニ至ッテ是等ノモノヲ定メタ場合ニハ、ドウスルノデアリマセウカ、矢張本條
ノ規定ニ從フ事柄ガ出來ルノデアリマスカ、或ハ又出來ヤウトモ思ハレルノ
デアリマスカ、一應確メテ置キタイノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 一例ヲ以テ言フト、會社ノ代表スル所ノ社員ト
云フモノヲ定メナカッタトキハ、即チ法律ノ結果デスカラ、總テノ社員ガ會
社ヲ成立タセルコトガ出來ル、例ヘバ第六十一條ノ「定款又ハ總社員ノ同意
ヲ以テ特ニ會社ヲ代表スベキ社員ヲ定メサルトキハ各社員會社ヲ代表ス」總テ
ノ社員ガ會社ヲ代表スルノ權限ヲ持ツ所デ、會社ガ成立ッテシマッタ後ニ、
其社員ノ一部ニ會社ヲ代表スル權限ヲ與ヘタ場合ハ、其會社ヲ代表スベキ人
員ヲ定メテ、其氏名ヲ登記スルト云フコトニナルノデス

○委員長代理(石黒瀧一郎君) ソレデハ委員長ノ代理ヲ致シマス
○(花井卓藏君) 六十條、定款ノ規定ニ依リマシテ此業務ノ執行ニ關與スル

○政府委員(田部芳君) 此六十條ノ規定ト云フモノハ、社員ガ會社ヲ代表ス
ベキコトニ定マッテ居リマスモノト、會社ヲ代表スベキモノトナッテ居ラヌ
場合トヲ問ハズ、總テノ社員ニ適用スル箇條デアアル、ソレカラ會社ヲ代表ス
ベキモノハ、名目ガ其總會ト云フコトニ、六十一條ニ極ッテ
居ル

○(花井卓藏君) チョット一ツ瀕リマスガ、第五十八條、之ガ矢張り私ガ第
二ニ政府委員ト大イニ爭ハントスル條文デアリマスガ、之モ隨分今日マデ修
正の質問ヲ幾回モ致シマシタガ、一モ要領ヲ得マセヌ、私ハドウ考ヘマシテ
モ、會社ノ目的ノ範圍内ニアラザル行為ヲ認メルト云フ事柄ハ、宜シクナイ
ト思フノデアリマス、宜シクナイト云フノハ、事實上宜シクナイト云フ薄弱
ナル理由デハナイ、法理上宜シクナイト云フ考案ヲ持ッテ居ルノデアアル、其
理由ハ先般モ幾々陳辯致シテ置キマシタカラ、政府委員モ能ク御承知デアラ
ウト思フノデアリマス、ソレニ就キマシテ梅君岡野君ノ答辯ガアッタ、其答
辯ニ附イテ尙ホ私ハ疑團ヲ起スノデアアル、ソレ故ニ其答辯ニ附イテ尙ホ一ツ
伺ッテ置キタイ點ガアル、ソレハ此梅君ノ説明デアアル、其説明ノ中ニ斯ウ云
フコトヲ云ハレタ、元來此合名會社ト云フモノハ、謂ハハ親族の性質ヲ
持ッテ居ルモノデアアル、ソレデアアルカラシテ餘リニ窮窟ナル規定ヲ設ケヌ方
ガ宜イデアラウト云フ事柄ガ、重ナル理由トナッテ説明ヲセラレタノデアリ
マスカラ、ソレカラ岡野君ノ御説明ニ依レバ、實際上困ル場合ガアルデアラ
ウ、ソレハドウ云フ譯デアアルカト云ヘバ、例ヘバ運送ヲナスト云フ目的ヲ以
テ會社ヲ起シタ場合ニ於テ、業務ヲ擴張スルタメニ、或ル土地マデ線路ノ延
長スルトカ、或ハ車ヲ以テ運送スル目的デ、會社ヲ建テタノデアアルケレドモ、
併ナガラ又線路ヲ履ンデ、馬車ヲ運送スルト云フヤウナ事柄ニナラヌケレバ
ナラヌヤウナ場合ガアルデアラウ、然ルニ此五十八條ノ法文ヲ嚴格ニ解釋シ
テ往ッタ場合ニハ、是等ノ事柄モ出來ヌ、斯ノ如キ事柄ハ、鐵道會社ガ線路
ヲ延長スルト云フヤウナ場合ニ於テモ、隨分困ル話デハナイカト云フ事柄ヲ
以テ反對ヲセラレタノデアアル、此兩君ノ説明ハ、同シ政府委員デアアルケレド
モ、大イニ其趣キヲ異ニシテ居ルノデアアル、短カク云ヘバ、梅君ノ議論ハ、合
名會社ト云フモノハ性質ガ親族的デアッテ、仕事ハ簡易ナモノデアアル、ソレ
デアアルカラシテ何モサウ仰々シク株式會社風ノモノヲ持ッテ來ナクッテモ宜イ
ト云フコトニ歸著スル、ソレカラ岡野君ノ説明ハ、合名會社ハ非親族的ノ關

係ヲ持ッテ居ルカノ如キ説明デアル、即チ株式會社ガ殆ドヤルベキ事例ヲ以テ來テ、説明ニ代ヘラレタノデアル、凡ソ日本ハ勿論ノ話、何レノ國ニ於キマシテモ、合名會社ヲ以テ岡野君ノ説明ノ如キ大事業ヲナスコト云フ事柄ハ、私ハ餘リ類例トシテ見ナイノデアル、此分ダケハ餘リ梅君ノ議論ニハ、平生感服ヲモセ私デゴザイマスガ、梅君ノ方ガ適當デナイカト思フ、果シテ梅君ノ御説ノ通りトシタナラバ、岡野君ノ説明サレタ如キ事例ハ、事實ニ於テ寧ロ想像ガ出來ヌコトデアル、サウシテ此點ニ附イテハ、法理論トシテハ兩君ノ御同意ニナツタ事柄ガ、速記録ノ上ニ於テ見ラレルノデアル、事實トシテハ岡野君ノ分ガ強イノデアル——事實ヲ維持スル議論トシテハ、然ルニ此維持スル材料トシテ強イ事實ト云フモノガ、現在ノ上ニ於テハナイノデアル、將來ニ於テモ私ハアルマイト思フ、鐵道ノ如キモノハ、總テ株式會社ニナツテ居ル、議院ニ於テ通過シタ鐵道國有ナド云フモノヲ御參照ニナツタナラバ、合名會社ニ斯ノ如キ事柄ノ起ルベキコトハアルマイト思ヒマス、併ナガラ是ハ極小ノサイ範圍ノ岡野君ノ如キ例ニ想像シテ見タ折ニハ、ソレハ或ハアルデアラウト思フ、例ヘバ小サイ三里ヤ四里ノ間ヲ電氣鐵道デヤツテ、ソレカラ又牛馬ニ積ンデヤツテ、ソレカラ又電氣鐵道ニ移ス事柄ハ、或ハ將來ニ於テ出テ來ルカ知ラヌケレドモ、併シ是ガ即チ梅君ノ所謂親族ノ性質ヲ持ッテ居ルカラ、變ヘタ所デ、其合名會社ヲ變更シタ所デ、苦モナイ話デアル、大變手數ヲ要スル事柄デナイ話デカラ、一向差支ナイ話デラウト思ヒマス、此點ニ附イテハ、第一ニ法理論ヲ伺ヒタイ、ソレカラ法理論ニ附イテ、御同意ヲ表セラレタ趣意ヲ十分ニ御説明ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二ニハ、梅君ハ親族ノ性質ト云フ事柄ニ附イテ御議論デアルガ、岡野君ノ方ハ、然ラズト云フ御趣意デアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、第三ニハ、岡野君ノ如キ例ト云フモノハ、今日マデノ會社ノ組織ニ於テ、日本ニ於テ見ラレルカ、ドウカラ伺ヒタイ、將來ニ於テモ起ルベキモノデナイト云フコトヲ、參考ノタメニ斷言シテ置キマス、ソレカラ第四ニハ、若シ親族的ト云フモノデアッタナラバ、斯ノ如キ小サイ關係デアルカラシテ、面倒モ何ニモナイカラ、更ニ改メテ合名會社ヲ設立シテ、毫モ差支ナイデアラウト思フノニ、ソレガ差支ヘルト云フ理由ハ、ドウ云フモノカ伺ヒタイ、ソレカラ第五ニハ、合名會社ノ範圍ト株式會社ノ範圍ヲ、略々同一ニ見ラレタ御趣意デアルカ、ドウカラ伺ヒタイ、第六以下モ此點ニ附イテ質問シタウゴザイマスガ、先ヅ唯今ダケガ重要ノ點デゴザイマスカラ、ハッキリト御尋ヲ致シテ置キタイト思フノデゴザイマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 私ノ説明ノ仕方ガ惡カッタガタメニ、花井君ガ誤解セラレタヤウデアリマスノデ、元來花井君ノ論旨ハ何所ニ在ルカト云フト、全體法人ト云フモノハ、一定ノ目的ヲ以テ設立スルモノデアル、其法人ノ設立ト云フモノハ、豫メ定メタ所ノ目的以外ニ、決シテ認ムベカラザルモノデアルト云フノ法理論ガ、根據ニナツテ居ルノデアル、其點ハ隨分議論ノ

アル問題デハアルガ、併ナガラ私モ法理論トシテハ、目的以外ニ法人ノ生存ヲ認メナイト云フ議論ハ、宜カラウト思ウテ居ル、而シテ此目的ノ變更ノ如キハ、合名會社デアルト、合資會社デアルト、株式會社デアルト、其會社組織ノ如何ヲ問ハズ、是非ハ認メニヤナラヌト思フ、實際上認メニヤナラヌデアラウト云フ理由カラ、花井君ノ根據トシテ居ラレル所ノ理由ハ、實際上ノ理由ヲ以テ反對シタノデアル、デ、此目的ノ變更ノコトハ、私ノ議論ヲ執ルト云フト、必ズシモ合名會社ニ限ルノデナイ、株式會社ニ限ルノデナイ、總テノ會社組織ニ通ジテ、場合ニ依ッテハ花井君ノ言ハル、又私ガ感服シテ居ル所ノ法理論ノ例外ヲ、是非認メナケレバナラヌト云フ必要ガアルデアラウト思ヒマス、ソコデ私ノ舉ゲタ例ハ、株式會社デナケレバナナイ例デアルカモ知ラヌケレドモ、併ナガラ元來株式會社ニ限ッテ、其目的ノ變更ヲ認メル必要ガアルト云フコトヲ云ッタノデハナクシテ、法理論ノ例外ヲ設ケナケレバナラヌ、而シテ其例外ハ、總テノ會社ヲ通ジテ之ヲ認メニヤナラヌト云フコトヲ、私ハ申シタノデアル、デ、株式會社ト云フモノハ、私ノ説明スルマデモナク、株主ト株主トノ間ニハ、何モ法律關係ハナイ、事實上或ハ關係ガアルカモ知ラヌケレドモ、併ナガラ其關係タル法律ノ上ニ於テ、認メナイ關係デアル、株主自身モ又第三者ニ對スル法律關係ニ立ツモノデハナイノデアル、故ニ株式組織ニ在ッテハ、株主ト株主トノ間ノ關係トカ、又株主ト第三者トノ間ノ關係ト云フヤウナコトハ、法律ノ上ニ於テハ、少シモ認メテナイノデアル、故ニ御互ニ共同ノ營業トシテ、共ニ營業ノ任ニ當ラウカ、或ハ株主ト株主トノ間ニ存スル信用ヲ以テ、株式會社ヲ起サウト云フヤウナコトハ、決シテナイノデアル、合名會社ニ在ッテハ、是ニ反シテ親族的ト云フコトハ、或ハ形容ノ辭デアリマセウガ、兎ニ角理窟ノ上ニ於テ、社員同士ガ御互ニ信用シテ居ラネバ、合名會社ト云フモノハ出來ヌノデアル——成立タナイノデアル、デ、ソレダケノ違ヒハ、私ニ於テモ無論認メルノデアリマス、私ノミデハナイ總テノ人ガ、其點ハ認メルデアラウト思フ、唯定款ニ極メタ其目的以外ニハ、決シテ法人ノ成立ハ認メナイノデアルト云フ理論ヲ採ルト云フト、會社組織ノ如キヲ問ハズ、實際上甚ダ不便デ仕方ナカラウト思フデ、其例トシテ株式會社ノ例ヲ私ハ舉ゲタノデアアルガ、併ナガラ合名會社ト雖モ、類似ノ事柄ハ決シテナイトハ言ハレナイ、例ヘバ運送ト云フコトヲ目的トシテ居ル會社ガアル、ソレハ例ヘバ其人ナラ人デ運搬ヲスルト云フコトヲ目的トシテ、ソレヲ變ヘテ、今度ハ馬ヲ引張ッテ運送ヲスルト云フヤウナコトハ、決シテ株式會社ニハ限ラナイ、勿論鐵道事業ノ如キハ、無論株式會社ニ許サヌノデアアル、合名會社ニ附イテモ類似ノ例ト云フモノハ、イクラモ舉ゲルコトガ出來ララウト思フノデス、例ヘバ是ハ或ハ商事會社トシテノ性質ニ反スルカモ知レヌガ、場合ニ依テハ商事會社ト云フモノガ、得意ニ二年始年末ニ物ヲ配ルト云フコトガアル、サウ云フヤウナコトハ、元來ノ性質カラ言フト、商事會社ノ目的ノ内ノモノデハナイ、サウ云フモノ一切禁ジテシマフイ云フ

ノハ、甚ダ窮屈デハナイカ、唯合名會社ハ御互ニ信用ヲ以テ成立ツ會社デア
ルガ故ニ、總社員ノ同意ガアレバ宜イ、株式會社ハ多數ノモノデアスカラ、
中ニ總テノ株主ノ同意ト云フコトハ、口ニハ言ハレケレドモ、法律ニ於テ
サウ云フコトヲ認メルコトハ出來ヌ、故ニ株主總會ニ於ケル特別ノ決議ヲ宜
イト云フ主義ヲ採ツテ譯デアリマスカラ、梅君ノ説明セラレタ點ト、
私ノ説明シテ點ト違ッテ居ルカモ知ラヌガ、併ナガラ根本ニ於テハ、決シテ
抵觸シテ居ルト云フ考デハナイ

○(花井卓藏君) 唯今ノ御説明ヲ承ハリマシテ、頗ル不同意ノ念ヲ益々強
シタノデアリマスガ、併ナガラチヨット次ニ進ムニ先ツテ、承ハツテ置キタ
イコトハ、岡野君ノ議論ニスルト云フト、矢張此目的ノ範圍内ニアラザル行
爲ハ、株式會社ニモ認メナケレバナラヌ——例外トシテハ認メナケレバナラ
ヌト云フ御議論ニ歸著スルノデセウカ、ソレヲチヨット承ツテ置キタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 私ハ其ノ點ヲ中スノデヤナイ、花井君ノ理論ガ、
如何ニモ法理上ノ議論トシテハ感服デアアル、又原則ハ是非サウナケレバナラ
ヌモノデアリマセウ、併ナガラ總テノ會社組織ニ通ジテ、一定ノ目的以外
ニ、決シテ其法人ガ行爲ヲシテハナラヌト云フ窮寇ナ論ハ、總テ全體ノ會社
ニ通ジテ實行ハ出來ヌコトデアルト云フコトヲ、私ハ申シタノデアリマス

○(花井卓藏君) ソレ故ニ此法律ニハ規定ガナイケレドモ、岡野君ノ所論ト
シテ、株式會社杯ハサウ云フ風ニ認メナケレバナラヌト云フ御趣意ニナルノ
デスカ、認メルノガ宜カラウト云フ御趣意ニナルノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 株式會社ニアツテハ、合名會社ト違ッテ、御互
ノ信用デアルト云フモノデアリナイノデアリマスカラ、目的變更トカ、其他定
款ノ變更ハ、固ヨリ認メデアリマスケレドモ、併ナガラ此目的ノ範圍内ニア
ラザル行爲ヲ爲シテモ宜イト云フコトハ、認メテナイノデアリマス

○(花井卓藏君) 尙ホ御尋シマスガ、此會社ニ關スル總則第四十二條ニ書イ
テアル、即チ「本法ニ於テ會社トハ商行爲ヲ爲スヲ業トスル目的ヲ以テ設立
シタル社團ヲ云フ」ト云フ事柄ガ書イテアル、即チ會社ト定義トモ爲スベキ
モノデアリマセウ、而シテ此會社ト云フモノガ商行爲ヲ爲スト云フ、其商行
爲ノ範圍ト云フモノハ、免ニ角一定ノ目的ヲ定メタル範圍ニ於ケル商行爲
ト、總則ノ上ニ於テ見ルノガ當然デアスカ、ドウカト云フコトヲ御尋シテ置
キタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 第四十二條ニ云フ所ノ商行爲ハ、一面カラ言ヘ
バ極メテ漠然トシテ居ル規定デアアル、免ニ角商行爲ヲ爲スコトヲ業トスル目
的ヲ設立シタル社團ナレバ、之ヲ會社ト云フノデアルト云フ意味デ、無論會
社トシテ成立ニハ、商行爲ノ種類ノ制限ハナイノデアリマスガ、併ナガラ唯
商行爲ヲナスガタメニ、會社ヲ設立スルノデナクシテ、全體ノ其商行爲ヲ目
的トシテ設立スルノ外ハナイノデアリマスカラ、或ル一ツ二ツト云フヤウニ
撰ンデ、ソレヲ目的トシテ設立スルヨリ外ナカラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 唯今ノ御説明竝ニ前々ヨリノ御説明ニ依リマシテ、法人ノ
定則トシテハ、目的ノ範圍内ニアラザル行爲ヲナス事柄ガ、出來ヌト云フ事
柄ニ付イテハ、稍々政府委員ノ同意ヲ得タ積リデアリマス、唯合名會社ニ私
共ノ議論ヲ用非得ベキヤ否ヤハ、一種ノ疑問トシテ存シテ置キマスガ、舊商
法——舊商法ト云ウテハ、語弊ガアルカ知レマセヌガ、現行ノ商法ノ八十六
條ニハ、丁度此修正商法ノ第五十八條ト同一ノコトノ規定ガアル、即チ其法
文ニハ「會社ノ目的ニ反セザルモノニ異ル業務事項ニ付イテハ業務擔當ノ任
アル總社員ノ承諾ヲ要ス」斯ウ書イテアル、此法文ノ趣意ハ、實ニ奇怪ナル
法文デ、目的ニ反セザルコトヲ要スルト云フガ如クニ全體ニ思ハレル、其
業務ノ範圍ノ目的ニ反セザルコトヲ要スルガ如クニ掲ゲテアル、其次ニ直
異ナル業務ト云ヘバ、其目的ニ反スル業務ト見ナケレバナラヌノデアアル、併ナ
ガラ舊商法ハ、幾分カ此法理ト云フモノヲ參酌シテ、法文ノ目的ト云フモ
ノハ、一定ノ範圍内ニ限ラヌケレバナラヌ、苟クモ範圍ヲ一歩出ヅレバ、不
法ナモノデアルト云フガ如クニ見エルノデアリマスガ、此八十六條ト五十八
條トハ、ドウ云フ關係ヲ持ツノデアルカ、關係ト云ツテ甚ダ漠然タル言葉デ
アルガ、舊商法ノ八十六條ノ立法ノ趣意ト、修正商法五十八條ノ立法ノ趣意
トハ、異ナルノデゴザイマスガ、異ナラヌノデゴザイマスガ、若シ異ナリタ
リトスレバ、何故ニ八十六條ノ舊商法ノ趣意ヲ、修正商法五十八條ノ趣意ニ
御改メニナツタノデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 第一ノ異ナル所ハ八十六條デハ、業務相當ノ任
アル總社員ノ承諾ヲ要スト云フノデ、總テ社員ト云フコトニナツテ居ラヌト
云フノガ、第一ニ違フ點デアリマス、修正案ノ第五十八條ニ於テハ、例ヘバ
業務ノ執行社員或ハ會社代表社員ト云フモノヲ定タ場合デモ、其業務ノ執行
ニ與カラザル又會社ヲ代表セザル社員モ、是非ニ同意セナケレバナラヌト
云フコトニシタノデス、ソレハ現行法ノ第八十六條ト異ナル所ノ一點デアリ
マス、ソレカラ其他ノ實質ニ至ツテハ、現行法第八十六條ノ規定ノ意義ガ、花
井君ノ言ハレルヤウニ不明デアルガタメニ、此不明ナル所ノ規定ヲ、第五十
八條ト比較シテ違フカ違ハヌカト云フコトヲ説明セヨト言ハレルノハ、隨分
困難ナコトデアラウト思フ、又第一ニ八十六條ノ解釋如何ト云フコトヲ先キ
ニ定メナケレバ、第五十八條ノ規定トノ比較ハ、説明スルコトガ出來ヌト思
ヒマス

○(花井卓藏君) 尙ホ此五十八條ニ付イテ御尋シマスガ、民法ノ第四十三
條ニ法人ノ原則ガ書イテアル、其法文ニハ「法人ハ法人ノ規定ニ從ヒ定款又
ハ寄附行爲ニ依リテ定メタル目的ノ範圍内ニ於テ權利ヲ有シ義務ヲ負フ」ト
斯ウ書イテアル、私ハ此規定ハ法人ノ性質ヲ解シ得テ、甚ダ當ヲ得テ居ルト
思フノデアアル、然ルニ此五十八條ニ至ツテ見ルト云フト、ドウモ此法人ガ、
矢張目的ノ範圍外ノ事柄ガ出來ルト云フコトニナルト、民法トノ衝突ヲナス
デアラウト思フ、此邊ノ消息ヲ承リタイ、ソレカラ第二ニ是ハ面倒デアリ

マスカラシテ、序ニ伺ッテ置キマスガ、一体此合名會社ナド、云フモノハ、強テナンデゴザイマスガ、法人トセナケレバナラヌト云フ何カ必要ガアルノデアリマスガ、又法理上ノ根據ガアルノデアリマスガ、私共ノ解釋ニ依レバ、此合名會社ナド、云フモノハ、梅君ノ御説明ノ如キ趣意ニシマスレバ、ソレカラ又一般ノ理論カラ解釋ヲシマスレバ、法人ト見ルノガ間違デハナイカト云フ考ヲ、私ハ持ッテ居ルノデアリマスガ、其兩點ヲ併セテ伺ッテ置キタイ、ソレカラ今マデ此合名會社ノ總社員ノ同意ガアツタ折ニハ、目的ノ範圍外ノ行為ヲ爲ス事柄ヲ許サレテ居ルノガ、或ハ合名會社ト云フモノハ、法人ト見ナイト云フ趣意カラ、起ッテ居ルノデアリマイカト云フ考ヲ私ハ持ッテ居ル、舊商法カラ立論ヲスルノデアリゴザイマセヌ、總テノ國ニ於テ、合名會社ヲ法人ト見ナイヤウナ國モアルヤウニ思ッテ居リマス、英吉利ナドハ合名會社ニ適當スベキモノハ、所謂嚴格ナル意味ヲ以テ解釋スルト云フ譯デ、法人ト見ナイト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點モ併セテ伺ッテ置キタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 民法ノ第四十三條ノ規定ハ、法人ノ一般ノ原則トシテハ、誠ニ正シイノデアアル、花井君ガ第四十三條ハ、誠ニ適當ナ規定デアルト云フコトヲ言ハレルダケニ、吾々モ又最も適當シテ居ル規定ト思フデアリマス、デ、民法ノ第七十一條ニ於テ、法人ガ其目的以外ノ事業ヲ爲シタルトキハ、主務官廳ハ其許可ヲ取消スコトヲ得ト云フ規定ガアリマス、此規定モデス、矢張第四十三條ノ規定ト牽聯シテ居ルノデアアル、併ナガラ御承知通りニ、民法ノ法人ト云フモノハ、所謂公益法人デアツテ、商法ニ定メテアル所ノ會社ガ、法人デアルト云フモノハ、其實質ニ於テ多少違ッテ居ル所ガアリマスト云フモノハ、兎ニ角商法ニ謂フ所ノ其法人、即チ會社ト云フモノハ、多少其商業上ノ株數トカ云フヤウナ如キコトヲ貴ブ必要モアリ、又其設立タルヤ御互ニ社員ガ、利益ヲ得ントスルノ目的ヲ設立スルノデアリマスカラシテ、其社員ノ幾分自由ニ任セルト云フコトハ、決シテ失當ナコトデハナカラウ、其點ニ於テ商法ニ謂フ所ノ會社ト云フモノト、合名會社ノ如キハ尙更デアリマスガ、民法ニ謂フ所ノ法人ト云フモノハ、違ッテ居ルト云フ規定ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトハ、殆ド當然ノコトデハナイカ、ソレガ理論ニ反スルト云フコトハ、吾々ハ認メラレヌデアリマス、ソレカラ第一二ハ、此ノ合名會社ト云フモノ、發達ノ沿革ヲ、私ハ述べルノデアリナイノデアリマスガ、御承知ノ通りニ此羅馬法アタリニアツテハ、固ヨリ其法人ト云フモノ、觀念ハ、十分ニ發達シテ居ラナカッタノデ、羅馬法ニ所謂會社、即チ民法ニ云フ組合ト云フ組合ト云フモノハ、即チ其根本デアアル、所ガ其組合ナルモノハ、單純ナル契約ノ理論ヲ以テ、之ヲ解釋シテ行クト、甚ダ不便デアアル、例ヘバ契約事項ヲ一ツ變ヘルト云フト、其契約ト云フモノハ消滅スルノデアアル、サウシテ新タニ契約ヲナスノデアアル、又世ノ中ニ對シテ、商業上ノ行為ヲナシテ行クト云フ上ニ於テモ、團體トシテ世ニ對スルト云フモノ、形ヲ成シテ居ラヌト云フト、非常ニ不便デアルト云フコトカラ、詰リ中古以來此法人ト

云フ名義ハ付セラレタニシテモ、兎ニ角獨立ノ團體トシテ行動スルト云フノ原則ガ、認メラレタ譯デアアルデ、何故ニ之ヲ法人トスルカ、是ハ便宜上ノ無論便宜上ノコトデアリマスガ、組合關係即チ此契約上ノ法律關係ト云フモノト、同一視スベキモノデハナイ、例ヘバ第三者ニ對シテ行為ヲナスニ附イテモ、法人ガナスノデアアル、其責任モ法人ニアリ、其權利モ法人ニアルト云フ方ガ、總テノ上ニ於テ便利デアアル、又サウ云フ理由ヲ採ッタノデアリマスガ、例ヘバ第六十八條ニ於テモ、其以下ニ於テモ、社員ノ退社ト云フコトガ認メテアル、若シ是ガ純然タル契約關係ナレバ、社員ノ一人ガ退イタナレバ契約ノ解除デアアル、總テ新タニ契約シナイト組合關係ガ生ゼヌノデアアル、新タニ一人ノ社員ガ加ハタ場合ニモ、前ノ契約ヲ消滅セシメテ、サウシテ新タニ契約ト云フモノヲ結バナケレバイカヌト云フ結果ニナッタノデ、會社ガ一定ノ商行爲ヲ目的トシテ立テ居ルニ、偶々一人ノ社員ガ死ダト云ウテ、直グニ其契約關係ガ解ケテシマフ、今マデ組合トシテアツタノガ、全然消滅シテシマフト云フコトデハ、到底商業上ノ機關トシテ行動スルコトハ、思ヒモ寄ラヌコトデアアル、サウ云フ理由ニ依ッテ、此會社ト云フモノハ、法人デアルト云フコトニ、新タニ定メル方ガ、宜シクアラウト云フ論カラ、法人トスルト云フコトニシタノデアリマス、固ヨリ花井君ノ言ハル、如ク、合名會社ナルモノハ、矢張り羅馬法ニ言フ所ノ會社、即チ民法ニ定メテアル所ノ組合ト云フモノカラ、自然ニ發達シテ來タモノデアリマスカラ、此現行法ナドニ於テ、先ヅ第八十五條以下ニ於テハ、社員間ノ權利義務ト云フ標題、ソレカラ第八十八條以下ニ於テハ、第三者ニ對スル社員ノ權利義務ト云フ標題、ソレカラアリマス、此名義ハ恰モ花井君ノ言ハル、如ク、稍々契約上ノ關係デアアルガ如キ思想ガ存シテ居ッタガタメニ、サウ云フ文字ヲ使ッタモノト思ハル、デアリマス、デ、之ヲ法人トスルト云フ以上ハ、會社ト社員トノ關係ト云フモノモ見ナケレバナラヌ、ソレカラ第三者ニ對スル關係ノ上ニ於テモ、會社ノ第三者ニ對スル關係ト云フコトヲ見ナケレバナラヌ、現行法ニ於テモ、其原則ハ認メナイノデアリマセヌガ、併ナガラ契約關係デアルト云フノ思想ヲ、全ク去ラナイモノデアラカラシテ、自然ニ其會社ト社員トノ關係トガ、會社ト第三者トノ關係ハ、表題ノ上ニ於テモ、現ハレヌ位ニナツテ居ッタニ相違ナイ、ソレデ商法修正案ニアツテハ、會社ハ總テ法人トスルト云フコトニ、明カニ定メタモノデハナイカラシテ、ソレデ會社ノ内部ノ關係トカ、或ハ會社ノ外部ノ關係ト云フ文字ヲ、自然ニ用ナケレバナラヌト云フ結果ニナツタ譯デアリマス、ソレデ花井君ノ御話ノ通りニ、英吉利ノ組合ト云フモノハ、是ハ純理上契約關係ト見テ居ルト云フコトハ、今日ノ英吉利ノ法律ニ於テモ、疑ナイ原則デアラウ、併ナガラ其契約關係ナルモノハ、一種特別ノ契約關係デアツテ、決シテ普通ノ契約ノ理論ヲ以テ、終始貫徹シテ居ルモノデハナイノデアリマス、矢張り法人ト云フ明カナ思想ヲ認メテハ居ラヌケレドモ、併ナガラ兎ニ角組合ニナルモノハ、稍々特別ナル形ヲ以テ居ルト云フ

コトハ、認メテ居ルノデアル、例へば訴ヲ起スニ付キマシテモ、組合ノ名義ヲ以テ起セル、又訴ヘラル、ニ附イテモ、組合ノ名義ニ訴ヘラル、ト云フコトヲ認メテ居ル、其他ハ一種特別ノモノデアリマスカラ、其他一般ノ大陸ノ法律ニ於テハ、合名會社ヲ認メテ居ルノデアリマスカラ、今此處ニ一々記憶ハシテ居リマセヌガ、白耳義ノ商法ト伊太利ノ商法ト、ソレカラ葡萄牙ノガ、サウデアッタト思ヒマス、此法律ノ趣旨ニ於テハ、會社ハ法人トスト云ウテ、明カニ規定ガ掲ゲテアル位デアアル、而シテ其規定如何ヲ見ルト、矢張花井君ノ言ハレル如ク、契約思想ガ全ク脱ケテ居ラナイガタメニ、必要デアリハシナイカト云フ規定ガ掲ゲテアル、殊ニ或ル商法ニ依ルト、商事契約ト云フ大ナ表題ヲ置イテ、其商事契約ノ下ニ、各種ノ商事契約ト云フ名義ヲ、會社ノコトナドニ規定シテアル位デアアル、ソレ等ノ立法論カラ推シテ考ヘテ見テモ、會社ト云フモノト、契約關係ト云フモノ、思想ガ、理窟ノ上ニ於テハ、明カニ格段ニ區別シテ居ルノデアリマスカラ、規定ノ上カラ云フト、マダ、契約關係ト云フモノト、會社法人ト云フモノト、明カニ區別ガ立ッテ居ラヌト云ウテ宜イノデアリマセウ、ソレハ併ナガラ寧ロ學理ノ問題ト云フヨリハ、沿革上多少契約類似ノ規定ヲ會社ノ部ニ設ケルト云フ方カラ、來テ居ルト思フノデアリマス

○(花井卓藏君) 唯今ノ御説明ハ、或ル意味ニ於テハ、私ノ所論ヲ確ムル材料トナラウト思ヒマスカラ、意見ヲ述ベル際ニ引用スル積リデアリマスカラ、次ニ進ンデ質問致シマス、第四百四十條デアリマス、第四百四十條ニ附イテ御尋致シマス所ハ、斯ウ云フ趣意ナンドス、株式ノ申込以後、ソレカラ株式總數ノ引受ノアルマデ、其間ガ意外ニ長イ年月ヲ經過シテモ、尙ホ申込ト云フコトヲ取消スコトガ、出來ナイ趣意ニ見ルノデアリマセウカ、若シサウ云フ趣意デアルトスレバ、少シ不都合デハナイカト考ヘルノデアリマスカラ、チヨット御尋致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 株式ノ申込ヲナシタルモノハ、法律上ドレダケノ責任ヲ負フモノデアアルカト云フコトハ、第二百二十七條ニ規定シテアル、此株式申込人ガ負擔スル所ノ義務ハ、法律上如何ナル理由ニ依ッテ、負擔スルノデアアルカト云フ點ニ付イテハ、議論ガアルノデアリマセウガ、併シ或ハ之ヲ契約關係デアルト云フヤウニ、解釋スル人モアルカモ知レナイガ、私杯ハ矢張一方ノ行為デ、即チ單獨行為ニ依ッテ縛バラル、ノデアルト思ウテ居リマスカ、是ハ別ノ問題デアリマスカ、兎ニ角拂込ヲ爲スノ義務ヲ負フモノデアアル、ソレカラ第四十條ト牽聯シタ問題ニナルト、兎ニ角引受ト云フモノガアツテ、ソレカラ後ト拂込ムト云フコトニナル、單ニ會社ヲ設立スル上カラ云フト、總テノ株ニ附イテノ引受ト云フモノガ確定シテ、然後ニ拂込ガアルノデアアル、ソレデ成程株式總數ノ引受ケト云フモノガ、長ク續イテ居ル間ハ、一番最初ニ引受ケタモノハ、申込ヲナシタ爲ニ縛ラレテ、サウシテ長イ間總數ニ對スル引受ガ、確定セラレヌモノデアアルカラ、其縛ラレテ居ル期間ト云

フモノガ、理窟ニ於テ、非常ニ長クアツテモ仕方ガナイ、サウ云フコトモ實際決シテナイト斷言スルコトハ出來ナイノデアリマス、併ナガラ此第四百四十條ノ規定ハ、株式ノ申込ヲナシタモノニ、大イナル影響ヲ及ボスモノデアアルガ故ニ、サウシテ實際ノ例カラ云ヘバ、斯ノ如キ場合ニミ權利ヲ與ヘテ置ケバ、差支ナイノデアアルカラ、特ニ二百四十條ヲ設ケタ譯デ、株式ノ總數ヲ引受ガ非常ニ長ク續クト云フコトハ、實際ノ例トシテハ、想像ノ出來兼ヌルヤウナコトデアアル、又何カ申込ノ權利ヲ與ヘナケレバナラヌト云フヤウナ場合デアレバ、十中ノ九分九厘マデバ、百四十條ヲ適用スベキコトニナルカラ、御尋ノ場合ニ附イテハ、特ニ法律ヲ設ケナカッタ譯デアリマス

○(花井卓藏君) 唯今百二十七條ヲ御引用ニナッテ、御答ニナリマシタガ、其御答ニ依ッテ百二十七條等ニ關係ヲ有スル諸般ノ點ヲ御尋申シテ置キマス、全ク別問題デアリマスカ、百二十三條ノ中斯ウ云フ事柄ガ書イテアル、發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ會社ハ之ニ因リテ成立ス云々、ソレカラ百二十四條ヲ百二十三條ト對照スルト云フト、是モ發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ニ適用スベキ規定ノヤウニ思ハレマスカ、即チ短ク云ヘバ百二十三條百二十四條ハ、發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ニ適用スベキ規定デアルト云フコトヲ認メラレマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 全ク其通りデアリマス
○(花井卓藏君) 續イテ——百二十五條ニ、發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケザルトキハ云々ト書イテアル、ソレカラ百二十五條ニ、株式ノ申込ヲナサントスルモノハ株式申込證ニ通ニ其引受クベキ株式ノ數ヲ記載シ之ニ署名スルコトヲ要ス云々ト、以下何レモ必要デアリマスカ、略シテ讀ミマセヌ、ソレカラ百二十九條ノ第一項ニ、株式總數ノ引受ケアリタルトキハ發起人ハ遲滞ナク各株ニ付キ第一回ノ拂込ヲナサシムルコトヲ要スト、斯ウアリマス、ソレカラ唯今ノ讀上デマシタ點竝ニ百三十條等ヲ見マスカ、即チ百二十五條百二十六條百二十九條第一項、ソレカラ百三十條等ノ規定ト云フモノハ、發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケザル場合ニミ適用スベキ規定ト認メラレマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 百二十五條ノ規定ニ附イテハ、前回御質問ガアツタト記憶シテ居リマスカ、株式ノ總數ヲ引受ケザルト云フノハ、發起人ガ其幾部分ヲ引受ケテ、其全体ヲ引受ケナイ場合ノ意味デアルト云フコトノ意味ニ、御答ヘシタ積リデアリマス、百二十五條カラ百三十條ニ至ル規定ハ、勿論株式ヲ募集スル場合ニミ當籍メル規定デ、即チ發起人ガ株式ノ全体ヲ引受ケタル場合ニ適用シナイノデアリマス

○(花井卓藏君) チヨット速記ヲ止メテ下サイ
(此間速記ヲ中止ス)

○(花井卓藏君) 唯今ノ問答ニ依リマシテ、百二十三條百二十四條ト云フモノハ、發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ニ關スル規定デアルト云フ事柄ハ、明瞭致シマシタ、ソレカラ百二十五條百二十六條百二十九條第一項、ソ

レカラ百三十條以下ハ、發起人が株式ノ總數ヲ引受ケザル場合ニ適用スル規定ト云フコトガ、明瞭致シマシタ、從テ此百二十七條百二十八條百二十九條第二項等ノ規定ト云フモノモ、前後ノ關係カラ見ルト、矢張發起人が株式ノ總數ヲ引受ケナイ場合ニ適用スルコト云フコトデ、ハッキリスル事柄ニナツテアル、然ルニ發起人が株式ノ總數ヲ引受ケマシタ場合ニハ、唯今ノ引受ケザル部分ニ關スル條文ト云フモノ、適用ガ、出來ヌヤウナ傾キニナリハシナイカト思ハレル、モウ一遍明カニ言ヒマシマスガ、是ハ矢張コツチ言ウデイカヌト分ラヌノデス、私ノ考ハ斯ウ云フノデス、百二十二條ノ次ニ條文ヲ加ヘタイ、即チ第百二十二條ノ甲トシテ「株式ノ引受ヲ爲シタルモノハ其引受ケタル株式ノ數ニ應ジテ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ」ツレカラ第百二十二條ノ乙トシテ「株式發行ノ價格ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ス」ツレカラ第百二十二條ノ丙トシテ「第一回拂込ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シタルトキハ其額面ヲ超ユル金額ハ第一回ノ拂込ト同時ニ之ヲ拂込マシムルコトヲ要ス」サウシテ第百二十七條第百二十八條及第百二十九條二項ヲ削リタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ル、ツレ故ニ唯今ノ質問ガ起ツタノデアリマス、其意味ヲ明カニシテ尙ホ理由ヲ申シマセウカ、分リマシタカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 分リマシタ

○(花井卓藏君) ツレデ唯今ノ修正ニ對シテ、修正ト言フハイカヌカラ、サウ云フ風ニヤツタラドウデアアルカ否ヤト云フコトノ質問ニナルノデス、其御答辯ヲ煩ハシタイ、此御答辯ヲ煩ハスニ就キマシテハ、引受ケタル場合ニ適用スベキ第百二十三條第百二十四條、ツレカラ引受ケザル場合ニ適用スベキ百二十五條百二十六條百二十九條ノ第一項竝ニ百三十條等ノ互ノ問答ヲ參照シテ、御答ヲ煩ハシマシマス、質問ノ趣意ハ、明カニナリマセウト思ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 花井君ノ修正意見ノ如キ形ヲ持ツテ居ル所ノ御質問ハ、詰リ此發起人が株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ノ規定ガ足りヌデアラウ、株主ヲ募集シタ場合ニ適用スベキ其規定ヲ、發起人ノ株式總數ヲ引受ケタル場合ニ適用セヌト云フ、甚ダ不都合デアラウト云フ御意見ノ御質問デアアル、ツコデ第一ニ、此株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ズト云フコトハ、特ニ此發起人が株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ノ規定ガアル、ツレハ或ハ花井君が見落シテ居ルデアラウト思フ「株式ノ第一回ノ拂込ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フコトヲ、第百二十二條ノ次ニ入レタラドウダト云フ御意見ノヤウニ思ヒマシマスガ、百二十三條ノ中ニ「此場合ニ於テハ發起人ハ遲滞ナク株金ノ四分ノ一ヲ下ラサル第一回ノ拂込ヲ爲シ且ツ取締役及監査役ヲ選任スルコトヲ要ス」ト云フ規定ガアルカラシテ、其規定ヲ花井君ハ、見落シテ居リハシナイカト云フコトヲ疑フノデス、ツレカラ其第二ニハ、此百二十七條ノ規定ノ必要ナル所以ハ、此現行法ノ下ニ於テモ、非常ニ議論ノアル點デアツテ、今日株式會社ヲ設立スルノニ、大概保證金ト云フモノヲ拂ツテ株主ノ募集ニ應ズル、ツコデ其株主ノ募集ニ應ジタ所ノ人ハ、保證金ヲ捨テレバ株式

ノ申込ヲ取消スコトガ出來ルカ、ドウカト云フ議論ガ、隨分アルノデ、其方ノ說ヲ主張スル人モアル位デアアル、此百二十七條ノ規定ガ、何故ニ必要デアアルカト云フト、即チサウ云フ疑ヲ避ケテ、申込ヲシタ以上ハ、無論其申込ニ依ツテ縛ラレルノデアアルト云フコトヲ明記シタイ、例ヘバ保證金ヲ拂ツタ場合デモ、將來モ必ラズ保證金ヲ拂ツテ應ズルト云フノデ、保證金ヲ捨テ、拂込ノ義務ヲ免レルト云フヤウナコトハ、第一ニ出來ナイト云フコトヲ明記シタイト云フノガ、一ノ趣意デアアル、所ガ發起人ノ總數ガ、御互ニ此株主皆引受ケヤウヂヤナイカト云フヤウナコトヲ約束シタトキハ、即チ其發起人仲間ノ一種ノ契約ト見テ差支ナイノデアアルカラ、其契約ニ依ツテ縛ラレルト云フコトハ、固ヨリ明カナコトデアアル、株主募集ノ場合ニアツテハ、御承知ノ通りニ此拾萬圓ノ資本ヲ以テ會社ヲ設立スルニ當ツテ、株主ヲ募集スルト、或ハ拾五萬圓、或ハ貳拾萬圓ノ申込ガアルカモ知レナイ、其場合ニハ一定ノ資本ヲ以テ成立ツタ會社デアアルガ故ニ、拾五萬圓貳拾萬圓ノ申込ガアツテモ、之ヲ拾萬圓ニ引戻サヌケレバナラヌ、其場合ニ此契約デアアルト云フ議論ハ、少シ取りニクイ、會社ノ勝手ニツレハ此勸業銀行ガ株主ヲ募集シタ場合ノ如クニ、數ニ應ジテ割當ルトカ、或ハ斯ウ云フ割合デ以テ株式ヲ分割シヤウ、或ハ餘計申込ンダモノヲ先キヘ取ルトカ云フヤウナコトハ、幾ラモアルカラシテ、申込ヲナシタトキノ時期ト、ツレカラ株式引受ノ後トハ、大イニ時期ガ異ツテ居ルケレドモ、發起人ノ場合デアアルト云フト、拾萬圓ノモノヲ七八ノ發起人が分ケテ、皆引受ケヤウヂヤナイカト云フコトニ致シマシマス、即チ發起人ノ間ノ一種ノ契約デアアルニ依ツテ、其契約ニ縛ラレルト云フコトハ、固ヨリ明瞭ノコトデアラウ、ツレカラ第三ノ點ハ、即チ第百二十八條第一項ノ「株式發行ノ價格ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フ此趣意ヲ、第百二十二條ノ次ニ入レタラドウダト云フ御質問デアリマスガ、無論其株式會社デアアル、併ナガラ株式發行ト云フコトヲ言フノハ、即チ會社ガ株主ヲ募集シタ場合ニ於テ、始終用井ル所ノ言葉デアアルカラシテ、ツレデ特ニ此發起人が株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ニハ、特ニ明文ヲ置ク必要ガナカラウト云フノ考デアアル

○(花井卓藏君) 能ク分リマシタ、今マデノ中デ一番能ク分リマシタ、此分

ダケハ修正ハ致シマシマイ

○(望月長夫君) チョット五十八條デ、今一度私モ御尋ヲシテ置キマシマスガ、元ノ條文デアハ、丁度此箇條ニ當ル所ニ「會社ノ目的ニ反セサルモ是ニ異ナル業務及事項」斯ウ云フ隨分不明瞭ナ文字デアアルケレドモ、兎ニ角目的ニ反セザル事項ト云フ制限ノ附イタ一箇條ガ、態々設ケテアツタト思フ、所ガ今度ノ五十八條デアハ「其他會社ノ目的ノ範圍内ニ非サル行爲」ト云フ極メテ汎博ノ文字ヲ書キ現ハサレテ居ルノデアアル、所ガ過日ノ質問ニ對スル政府委員ノ御答辯ニハ、一時ノ事業ト云フヤウナ自然ニ政府委員ノ此立法者ノ趣旨ノ中

ニモ、制限ガアルヤウナ御辯明デアツタと思フガ、又「其他會社ノ目的ノ範圍内ニ非サル行爲ヲ爲スニ」ト斯ウ云フ汎博ナル文章ノ中ニ、起草者ガ希望シテ居ラル、一時トカ云フヤウナ制限ヲ見出スコトガ出來マセウガ、即チ此文章デ、政府委員ノ起草ノ趣旨ガ、果シテ矢張り舊商法ノ精神ノ如ク——又御説明ノ如クニ別限セララル、趣旨デアアルノデアルト、此文章デハ實際分リ兼ネルデアラウト思フ、今一應ドウ云フ趣旨デ、是レデサウ云フ制限ガアルト云フコトヲ言ヒ現ハスコトガ出來ルカ、明瞭ノ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 明瞭ノ説明ヲ得タイト云フ御話デアリマスガ、此現行法ノ第八十六條ノ規程ト云フモノガ明瞭デナイ、御話ノ如ク明瞭デアリマセヌカラ、先刻モ花井君ノ質問ニ對シテ、御答ヲシタノデアリマスガ、此八十六條ノ規程ト云フモノハ——現行法ノ第八十六條ノ規程ト云フモノハ「會社ノ目的ニ反セサルモ之ニ異ナル業務及事項ニ付テハ義務擔當ノ任アル總社員ノ承諾ヲ要ス」ツレダケハ明カデゴザイマス、一層進ンデ言フト、會社ノ目的ニ反スル行爲ハ、ドウデアアルカト云フコトニナルト、第八十六條ノ規程カラハ、誠ニ不明デゴザイマス、デ、私一己ノ考ヲ以テ申セバ、是ハ現行法ノ解釋問題ニナルノデアリマスガ、會社ノ目的ニ反スル所ノ行爲モ出來ル、目的ニ反セザルモ、ツレニ異ナルトキハ、矢張り義務擔當ノ任アル總社員ノ承諾ヲ要スト云フノデ、會社ノ目的ニ反スル行爲ニ向ッテモ、義務擔當ノ任アル總社員ノ承諾ヲ必要トスルト云フコトハ、勿論デアアル、目的ニ反セヌデモ、之ニ異ナツタ行爲ニ於テハ、義務擔當ノ任アル總社員ノ承諾ヲ要スル、斯ウ云フ意味ニ解釋スルノガ、或ハ穩當デハナイカト私ハ考ヘテ居ル、即チ會社ノ目的ニ反スル行爲ハ、決シテ出來ナイト云フノ意味ヲ以テ、第八十六條ヲ揭ゲタモノトハ私ハ見ナイ、此第八十六條ノ規程ハ、獨逸ノ商法ニ稍、斯ウ云フヤウナ文字ガ用非デアアルノデスガ、ツレハ私ガ此第八十六條ノ解釋トシテ申上ゲタヤウナ趣意デ、書イテアルト思フデ、假ニサウデナイトシタ所デ、此契約ノ變更ノ如キハ、矢張り現行法ノ八十三條ニ認メテアッテ、即チ會社契約ハ、總社員ノ承諾アルニアラザレバ、之ヲ變更スルコトヲ得ズト云フノデ、其點ニ附イテハ、定款ノ變更ヲ爲スニ附イテハ、總社員ノ承諾ヲ得ルヲ要スト云フ規程ニ當ル、第八十六條ノ目的ニ反スル行爲又反セヌ行爲デモ、目的ニ異ナコトヲ爲スニ附イテハ、義務擔當ノ任アル總社員ノ承諾ヲ要スト云フコトニ、總社員ノ同意ヲ要スルト云フコトガ、相當シテ居ルノデアリマス、即チ現行法ノ第八十三條ト第八十六條ト云フモノニ、此修正案ノ第五十八條ガ、相當シテ居ル規程デアルト、御覽下サッテ差支ナイト思フ

○(望月長夫君) 私モツレヲ疑ッタノデゴザイマスガ、要スルニ私ノ疑ハ、會社ノ目的ノ範圍内ニアラザル行爲ト云フ中ニハ、目的ニ反スル行爲モ反セ

ザル行爲モ、含ム文字デハナイカト思フ、此通り書イタ文字ノ言ヒ現ハス意味ハ——ツレガ定款ノ變更ニナル場合ト、ナラナイ場合ト、ドウ云フ處ニ區別ガアルカ、現行法ノ意味デモ、目的ニ反セザルモ、之ニ異ナル業務ト云フ制限シタル事柄ハ、義務擔當ノ任アル總社員ノ承諾ヲ出來ル、ツレ以上目的ノ變更ニナレバ、八十三條ノ會社契約ノ變更ニナツテ、總社員ノ承諾ガナケレバ、出來ヌト云フ趣旨ノヤウニ私ハ思フ、此定款ノ變更ニナル場合ト、ナラザル場合トガ、此下ノ文章ダケデ、ドウシテ言ヒ現ハセルカト云フ其區別ガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) ツレハ寧ロ議論ヨリハ、實際上ノ問題デアラウト思ヒマスガ、此永久ニ會社ノ目的トシテ定メタモノヲ變ヘテ、更ヘタ其事項ヲ長ク實行シテ行カウト云フニハ、自ラ總社員ノ同意ヲ以テ定款ヲ變更スルト云フコトガ、實際上必要デアアルケレドモ、或臨時ノ場合ニ此行爲ヲシヤウト云フノデアアル、又一時限リデ、ツレガ終ッテシマフノデアレバ、定款ハ變更スルニモ及バヌノデアアル、ツレハ社員ガ定款ノ變更ヲシテ、サウシテ永久ニ其變更シタル事柄ヲ、ヤッテ往カウト云フノ積リデアレバ、即チ定款變更ト云フコトヲスルデアラウシ、又定款變更ヲスルノガ便利デアアルカラ、必ズ社員モ進ンデヤルノデアリマスケレドモ、一時此目的ノ範圍内ニアラザル行爲ヲナスト云フニ、定款ヲ變更スルノ必要モナイノデアアルカラ、ツレデ總社員ノ同意ガアレバ、一時其行爲ヲナスコトガ出來ル、ツレハ寧ロ此法律ガ是非定款ハ、變更シナケレバナラヌト云フコトヲ強ユルノデハナイノデアリマスカラ、ツレデナスベキ行爲ニ付イテ、一々總社員ノ同意ヲ求メテ往クト云フノ方法ヲ採ルデアアルナラバ、ツレハ五十八條ノ規程ニ依ッテ、ツレマデ法律ガ干涉スルト云フノ考デハゴザイマセヌ

○(望月長夫君) サウスルト詰リ定款ヲ變更スルト、一時變更セズシテ目的ヲ變更シタルト、同様ノ結果ニナル事柄ヲスルトモ、其會社ニ委セル、法律ガ之ヲ制裁セヌ、斯ウ云フノデスナ

○政府委員(岡野敬次郎君) 同様ノ結果ニハ、ドウシテモナレナイデス、定款ノ變更デアレバ、一度變更スレバ、其變更ニ從ッテ其變更ノ趣意ヲ損ゼザル範圍内ニ於テハ、繼續的ニ其行爲ヲナスコトガ出來ル、併ナガラ一時其目的ノ範圍内ニアラザル行爲ヲ爲スト云フコトヲ同意シテ置イタ所デ、其次ノ行爲ヲ爲スニハ、又總社員ノ同意ヲ要スルノデアリマスカラ、ツレハ結果ノ上デハ違フコトデアリマス

○委員長(大岡育造君) ツレデハ是ヲ以テ今日質問ノ終結ト致シマス、此次ハ一日間ヲ置キマシテ、二十四日ニ討議ニ移リマス

午後零時四十四分散會

衆議院商法修正案審査特別委員會速記録第二號正誤

頁	段	行	誤	正
九	下	二	商行爲デアル	商行爲デナイ
同	同	一三	四人ノ人	四人ノ中一人
一四	上	四	商法施行法	非訟事件手續
同	下	二	商號	商業
一六	同	一三	要求	制裁
同	同	一七	ナリマス	ナリマセヌ
一七	下	三	規定ハ置カヌ	規定ヲ置カネ
一八	上	三〇	役ト云フ事實	役カサウ云フ
同	同	三一	ヲ知ツテ	決議ヲ行ツテ
同	同	三一	得テ會社ニ	決議ヲ行ツテ
同	同	三一	會社	退社
同	同	一八	デアルカラ	デハナイカラ
一九	同	二	穩當デナイ	穩當デアル
二一	上	四	合名	合資
同	同	二	合名	合資
二四	同	五	合名	合資
二五	同	六	拂ヘナカタ	拂ヘタ場合
同	同	六	場合	拂ヘタ場合
三二	上	二五	出來ル	出來ヌ
同	下	二三	コトニナリマ	コトニハナリ
三四	上	三五	於テモ必要デ	於テハ必要デ
同	同	三五	アルト認メテ	ナイト認メテ
四一	上	二五	條文	條件
同	同	二七	條文	條件
四三	下	三二	デモ、文章ノ	條件
同	同	三二	上カラ宜イ	デハ、文章ノ
四五	上	三五	繰替ヘヤウ	上カラ如何
同	同	三五	繰替ヘヤウ	起算ノシヤウ